

【商法】

出題趣旨

新会社法が制定され、従来の仕組みが見直される中で、実業界ではライブドアによるニッポン放送の買収騒動を契機として企業防衛策に対する関心が急速に高まりました。社会が急速に変化する中で、法学既修者に対しては、新しい問題につき自ら解答を出す能力が益々求められるようになって来ています。そのための前提は、広い範囲に渡る正しい知識です。そこで、商法の論文試験として、新しい問題である敵対的M & Aを素材としながら、問2のような初歩的な法的知識を見る問題から、問4のように高度の解釈論を要する問題まで散りばめて提出してみなした。また、論文形式を採用していませんが、文章で、理由を付して、解答させることによって、記述能力をも採点できるようにしています。